

ご無沙汰だね  
みんなは桃活  
捗ってるかな？

櫻井桃華の  
プロデューサー兼、  
櫻井桃華研究家兼、  
桃華の旦那の  
桃華Pだ



早速だが  
今回発表する  
研究テーマは

「桃華との  
交流期間の  
長さによる  
行為の変化」

すなわち、  
夫婦の営みを  
覚え始め

初々しくも  
「兆し」が見える  
桃華Aと……

すっかり  
性生活に順応し  
主導権すら  
握ることもある  
桃華B

この2つの  
サンプル桃華の  
比較を通じて

桃華の持つ魅力：  
その一端に  
迫っていかうと思う

# ももかよいつま こんとらすと

作:またのんき▼

DOJIN  
R18  
成人向け

※18歳未満の  
購入・閲覧禁止

100  
COMIC MARKET  
FRIENDSHIP FOREVER

桃華A  
1 前戯

唾えるモノの大きさに  
苦勞しつつも  
丁寧に、甲斐甲斐しく  
奉仕を行う桃華

舌の這わせ方、  
竿の触り方、  
すべてが愛おしさに溢れ、  
それが征服欲を刺激する

その姿が  
最高の技巧以上に  
なっている事を

彼女が理解するのは  
まだ先の話……

時折、  
反応を伺うように  
こちらへと  
視線を向けるが

未だ自分の行為に  
恥じらいがあるのか、  
すぐ目を背けてしまうのが  
かわいらしい

前戯と言いつつも  
加減を計りそこね、  
オーバーラン  
してしまうのも  
ご愛嬌

覚えたての  
精飲の披露は  
奉仕を受けた側は  
もちろんの事、

桃華側も  
多大な興奮に  
身を熱くしている  
様子が見受けられる

# 桃華B

## ①前戯

幾度となく  
行われてきた  
口での奉仕……

こちらの弱い部分は  
すべて熟知しているため  
生かすも殺すも桃華次第、  
まさしくまな板の上の鯉と  
言ったところ

しかし根底にある  
愛情と慈しみは  
何も変わることはなく、  
口の中で抱かれて  
ような心地よさ……  
モノが溶けてしまうのでは  
ないかと錯覚する

手や口以外の愛撫も  
慣れたもので  
性器同士の擦り合いは  
前戯と本番の境界が  
曖昧になりつつある

「あなたのことは  
ぜんぶお見通しですよ」  
そう言わんばかりの  
的確な寸止め……

今度は  
自分が桃華に  
変えられていく番なんだと  
背筋が凍る

愛する人の反応を  
目で確かめながら  
自身のポルテージを  
高めていく

品のない音を  
出すのを嫌う桃華も、  
それが相手の欲望を煽る  
要素の一つと理解してからは  
照れながらも行うように  
なっていた

桃華A  
2性交

たっぶりの愛撫で準備を整えた後は待ちに待った本番の始まり…

幼い入り口が淫猥な水音を立てながら飲み込んでいく様は否が応でも罪の意識を思い起こさせる

挿入への抵抗は数を追うごとに薄れ、徐々に快感を感じる余裕ができた頃合いだ

まあやるんだけど

はやる気持ちを抑え、ゆっくりゆっくりに膣壁に馴染ませるよう動かしていく

一突きごとにこぼれる嬌声は自分だけの嬌声はサブスクリプションだ

こわばった膣内がほぐれ、竿全体に絡みつき始めたのを見計らってこちらもペースを上げる…というか理性の限界

桃華も快感を享受することに集中できており、愛液の量と濁りは目に見えて増してきた

上と下両方の接続をもって双方のテンションは最高潮に達する

こうなってしまうと桃華の舌が積極的に絡ませてくるのがあまりにエロい



桃華A  
3 絶頂

強い射精の勢いが  
小さな子宮を何度も叩き、  
それが桃華に多重な絶頂を  
もたらしている

今回の行為でも  
彼女の肉体は  
また少し  
成長したようだ

一体どこまで  
進化し続けるのだろうか

絶頂のたびに  
膣内は強く締めまり、  
奇しくもそれが  
精を搾り取る  
最適な状態を作り出す

無意識下で  
射精に媚びているのが  
恐ろしい…

愛の証を確認し  
恍惚の表情を  
浮かべる桃華

とろりとした瞳に宿るのは  
愛する人を  
満足させることが  
できたという安堵感と、

愛する人を  
受け入れることが  
できた自分に対する  
肯定感、

そして何よりも  
行為の継続を求める  
強い期待感だった……

桃華B  
3 搾精

本日の長い夜も  
とうとう明ける時が  
来たようだ

もう……  
出な……

ももか……  
一晩での回数が  
二桁以上となって  
久しい二人

一回一回に  
余韻を持たせていた  
時代から  
打って変わって

今なお膣壁は  
隙間なく埋まり、  
鈴口は子宮口で  
がっちりとホールド

紆余曲折あったが  
結果はこのように  
見上げる形で  
終了となった

前半の飛ばし過ぎが  
敗北の原因だろう

もっとも  
そうなるよう  
仕草で煽ったのは  
桃華なのだ……

夫の愛欲を  
最後の一滴まで  
搾り出すため  
脈動は緩めない

桃華との戦績は  
そろそろ50:50に  
迫り始めているが、

子種で  
たぶたぶのお腹を  
さすりながら  
微笑みを浮かべる  
桃華を見上げながら、

世界で最も  
幸せな敗北感を  
噛み締めていた……

だいたいが  
だったろうか？

もちろんこれは  
数多に観測される  
桃華のたった2日の  
記録にすぎない



こうなる未来も  
あっただろうし  
あつたことだろう

私が伝えたいのは  
桃華には無限の  
可能性があると  
いうことだ

今回の私の報告が  
あなたの新たな桃華ライフの  
きっかけになれば幸いです

是非とも  
あなた自身の手で  
まだ見ぬ桃華との  
ストーリーを  
紡いでほしい

それでは  
またどこかで…

See you next Momoka...

## あとがき

またのんき▼です。▼は発音しません。  
わざわざ会場にお越しいただきまことにありがとうございます。

これ描いてる途中でモバマスサービス終了のお知らせが来ました。  
文章が変だったらそのせいです。

愛ある限り桃華は永遠だから……。

差し支えなければtwitter等で誌名付きで感想を呟いてもらえればそれ以上の喜びはありません。  
「よかった」だけでも。次の作品の活力になります！  
直接私宛でなくとも勝手に見ますのでそこは何卒ご了承ください…。

👉 #のんきブック #ももかよいつま

### ◆奥付◆

## ももかよいつま こんとらすと

2022年 8月14日 発行

発行：またのんき▼

twitter:@kinnotamadx

http://kinnotamadx.tumblr.com/

mail:horizonworld@hotmail.co.jp

印刷：トム出版様

■18歳未満の購入・閲覧禁止■

■無断転載・複製・配布等禁止■